

## 試聴会・訪問記掲載

### 河口無線ゴールデンウイークオーディオ三昧報告(2016.5.1)

河口無線では、ゴールデンウイーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。今回もゴールデンウイークに合わせて開催されていましたのでCDを持参して聴いてきました。

場所：河口無線 3F ハイファイデリティ試聴室

月日：4月29日(金)～5月8日(日)

時間：PM1：00～PM5：00

#### <使用機材>

試聴対象は以下の3システムです。

##### 【第一システム】



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



ヴィオラ プリアンプ カデンツァ ¥2,700,000



ヴィオラ パワーアンプ シンフォニー ¥3,348,000



エソテリック SACD プレーヤー K-01X ¥1,566,000



タスカム ワードクロックジェネレーター CG-1000 ¥162,000



リン ネットワークオーディオプレーヤー AKURATE-DS-K ¥972,000

### 【第二システム】



アバロン スピーカーシステム DIAMOND ¥6,264,000 (ペア)



ラックスマン プリアンプ C-900U ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900U ¥1,188,000



ラックスマン SACD プレーヤー D-08u ¥1,188,000

**【第三システム】**



パイオニア スピーカーシステム CLASSIC-60.2 ¥1,944,000 (ペア)



アキュフェーズ SACD プレーヤー DP-720 ¥1,188,000



アキュフェーズ プリアンプ C-2820 ¥1,296,000



アキュフェーズ パワーアンプ P-7300 ¥1,296,000

<使用状況>

当日のセッティング状況は次の写真のとおりです。



【第一システム】



【第二システム】



【第三システム】

持参した CD はいずれも演奏会で買い求めてきた次の 3 枚です。



### <試聴結果>

まず、第一のシステムですが、入室時には先客がフィンランディアを大音量で聴いておられ、なかなか聴けないグレードで迫力ある再生ぶりが魅力でした。先客の退室後、上記の3枚のCDを聴いてみましたが、音像が実際の演奏会で聴くより大きく、倍音の繊細感に欠けるような印象でした。エソテリックのK-01Xには、タスカムのワードクロックジェネレーターからクロックを供給していましたが、恐らくエソテリックの音が支配的なためと思われます。これまで802D3を聴いたなかでは、テクニカルブレインのアンプでアナログを聴いた[試聴会](#)の音が一番良かったので、今回の印象をもって802D3の評価としてしまうのは間違っているように思います。

第二のシステムはアバロンの個性が強く、今どきのハイエンドの音という感じで、持参したCDの再生はミスマッチの印象でした。

もっとも印象に残ったのは、第三のシステムで、アキュフェーズとピエガのそれぞれの良いところが音にでていたように感じます。ピエガのリボンツイーターが、自宅でもリボンツイーターや静電型ツイーターやハイルドライバーを使っているのも、しっくりきたように思いますし、ピエガ自体もこれまでの印象と違っていました。河口無線の担当者によれば、新シリーズになってアルミのキャビネットから木質のキャビネットに変更されたようで、これまで何となく金属性の音がしていたことから解放されたように感じました。このCLASSIC-60.2は別の機会にじっくり聴いてみたいと思います。